

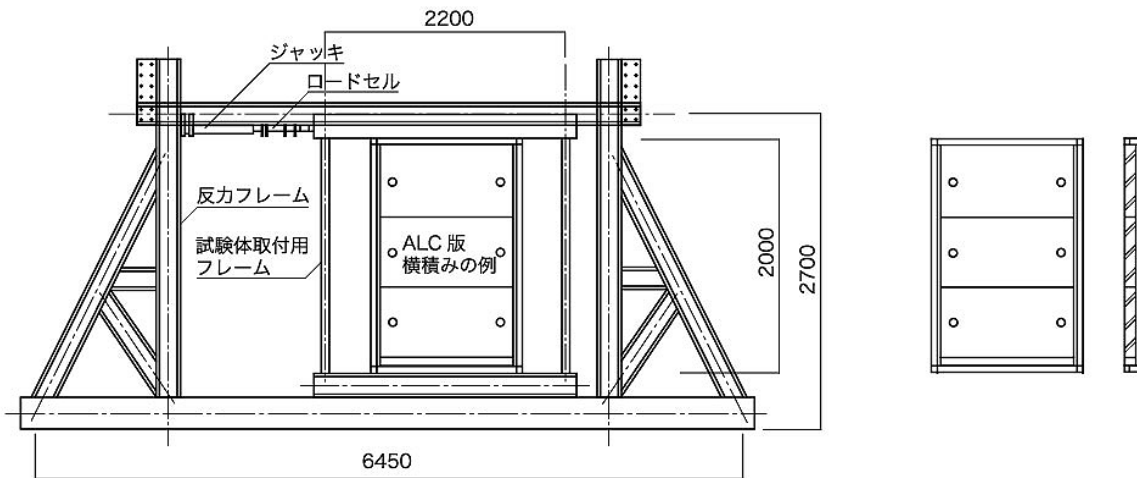
1. 試験体

パネル 1200×600 100 3段積み、両端部13 ボルトで試験体フレームに溶接

2. 試験概要

試験体：大きさは、高さ2m、幅1mである。四周を軽量鉄骨製の枠材で囲んだもの（鉄筋等はこの枠にアンカーされる）これらの試験体は、上下端を試験体取付け用フレームの上下弦材にボルトで緊結された。

試験装置：十分に剛な反力フレームをH型鋼により製作し、その中に四隅をピン接合とした試験体取付け用フレームを載せ、下端は反力フレームにボルトで堅結し、上端を反力フレームに取付けたオイルジャッキで水平方向に押し引きできるようにした。



試験装置

試験体

3. 载荷プロセス

段階	層間変形角 (rad)					
1	0	+1/500	0	-1/500	0	0
2	0	+1/250	0	-1/250	0	0
3	0	+1/125	0	-1/125	0	0
4	0	+1/60	0	-1/60	0	0

4. 試験結果

段階	層間変形角 (rad)	変位量	試験結果
1	±1/500	約4mm	異常なし
2	±1/250	約8mm	異常なし
	(1/170)	約12mm	上横目地にひびわれ発生
3	±1/125	約16mm	中パネル隅角部にひびわれ発生
4	±1/60	約28.8mm	下横目地ズレ発生、隅角部ひびわれ進行

パネルの脱落はなし